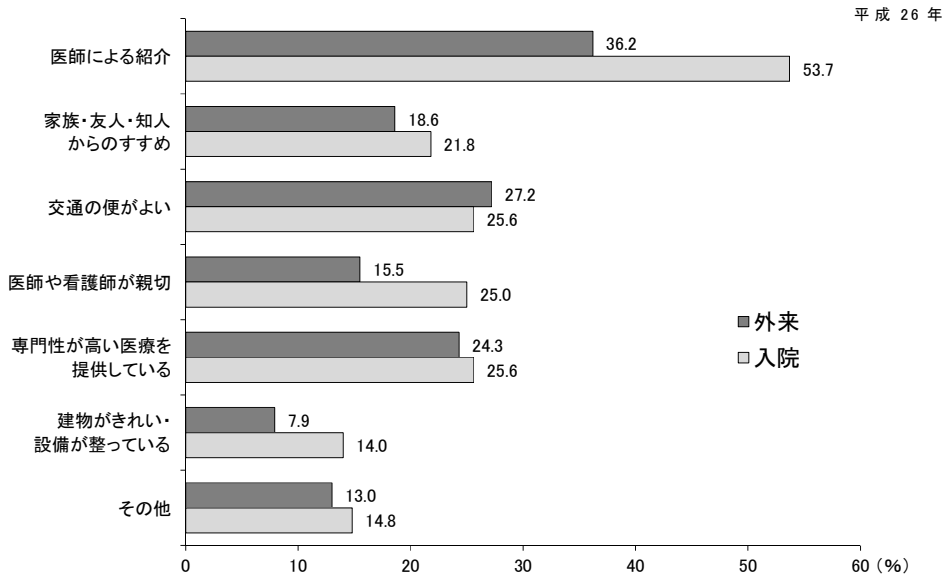


結果の概要

1 病院を選んだ理由

病院を選んだ理由があると回答した者について、選んだ理由をみると、外来、入院ともに「医師による紹介」が最も高く、外来で 36.2%、入院で 53.7%、次いで、「交通の便がよい」が外来で 27.2%、入院で 25.6%、「専門性が高い医療を提供している」が外来で 24.3%、入院で 25.6%となっている(図1、統計表1、2)。

図1 外来－入院別にみた病院を選んだ理由(複数回答)(基本集計)



注：病院を選んだ理由があると回答した者を 100 とした割合である。

2 予約の状況、診察等までの待ち時間、診察時間(外来患者のみ)

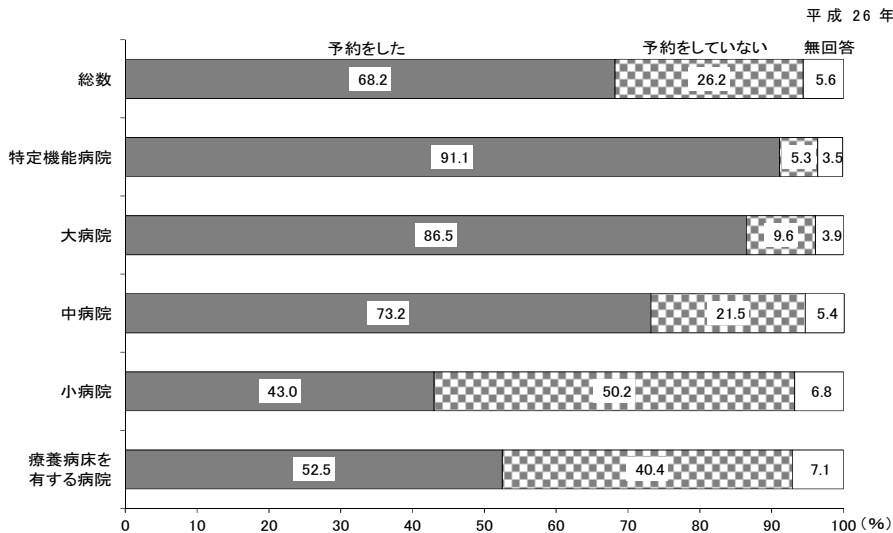
(1) 予約の状況

外来患者の予約の状況をみると、「予約をした」は 68.2%、「予約をしていない」は 26.2%となっている。

病院の種類別にみると、「予約をした」が最も高いのは特定機能病院で、91.1%となっている。

(図2)

図2 病院の種類別にみた外来患者の予約の状況(基本集計)



(2) 診察等までの待ち時間、診察時間

外来患者の診察等までの待ち時間及び診察時間をみると、待ち時間は「15分未満」が25.0%と最も多く、次いで、「15分～30分未満」が24.1%、「30分～1時間未満」が20.4%となっており、1時間未満の待ち時間の割合が多くなっている。

診察時間は「3分～10分未満」が51.8%と最も多く、次いで、「3分未満」が16.3%、「10分～20分未満」が14.0%となっている。(表1、統計表3)

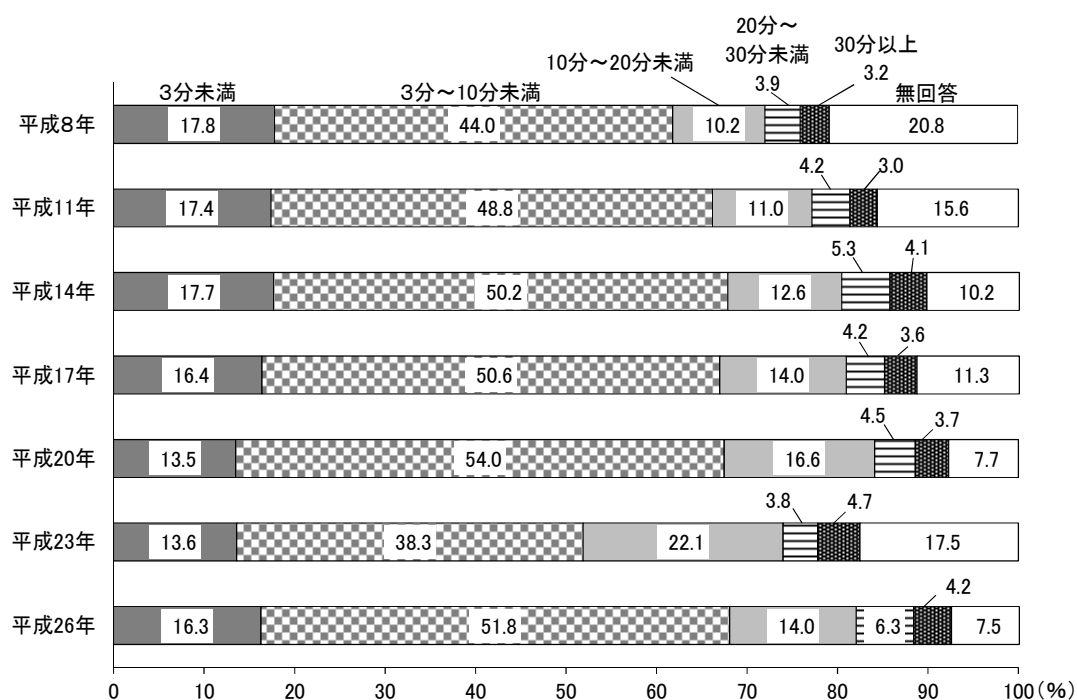
表1 外来患者の診察等までの待ち時間、診察時間(基本集計)

(単位:%)		平成26年						
		診	察					時
総		数	3分未満	3分～10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分以上	無回答
診	総	100.0	16.3	51.8	14.0	6.3	4.2	7.5
察	15分未満	25.0	5.1	12.3	3.0	1.8	1.7	1.1
等	15分～30分未満	24.1	3.7	13.8	3.4	1.6	0.8	0.8
ま	30分～1時間未満	20.4	3.0	11.5	3.3	1.2	0.7	0.7
で	1時間～1時間30分未満	10.8	1.7	6.1	1.8	0.5	0.3	0.3
の	1時間30分～2時間未満	7.5	1.3	4.0	1.2	0.5	0.3	0.2
待	2時間～3時間未満	4.5	0.8	2.4	0.7	0.3	0.1	0.2
ち	3時間以上	1.9	0.3	0.8	0.3	0.2	0.2	0.1
時	無回答	5.9	0.4	0.9	0.3	0.2	0.1	4.1

注:「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

外来患者の診察時間の年次推移をみると、「3分未満」及び「3分～10分未満」の合計がおおむね6～7割程度で推移している(図3)。

図3 外来患者の診察時間の年次推移(基本集計)



注:1)平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

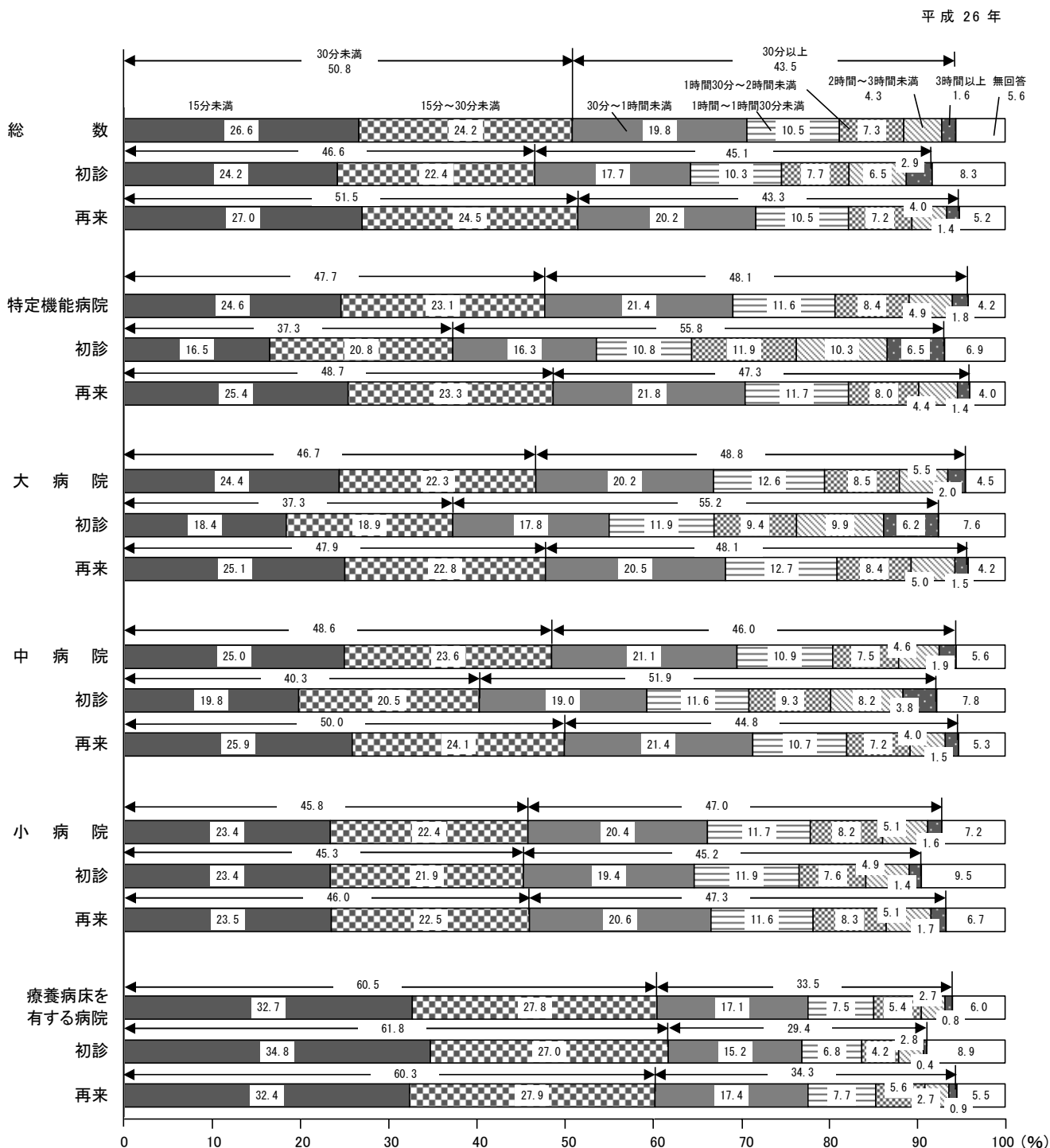
関連集計 (患者調査)	初診－再来
----------------	-------

(3) 初診－再来別にみた診察等までの待ち時間

外来患者の診察等までの待ち時間を初診・再来別にみると、「30分未満」では初診 46.6%、再来 51.5%、「30分以上」では初診 45.1%、再来 43.3%となっており、「30分未満」は再来の割合が高く、「30分以上」は初診、再来とも同程度の割合となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院、大病院及び中病院の初診では「15分～30分未満」が最も多く、再来では「15分未満」が最も多くなっている。小病院及び療養病床を有する病院では、初診、再来とも「15分未満」が最も多くなっている。(図4)

追加 図4 病院種類、初診－再来別にみた外来患者の診察等までの待ち時間(関連集計)



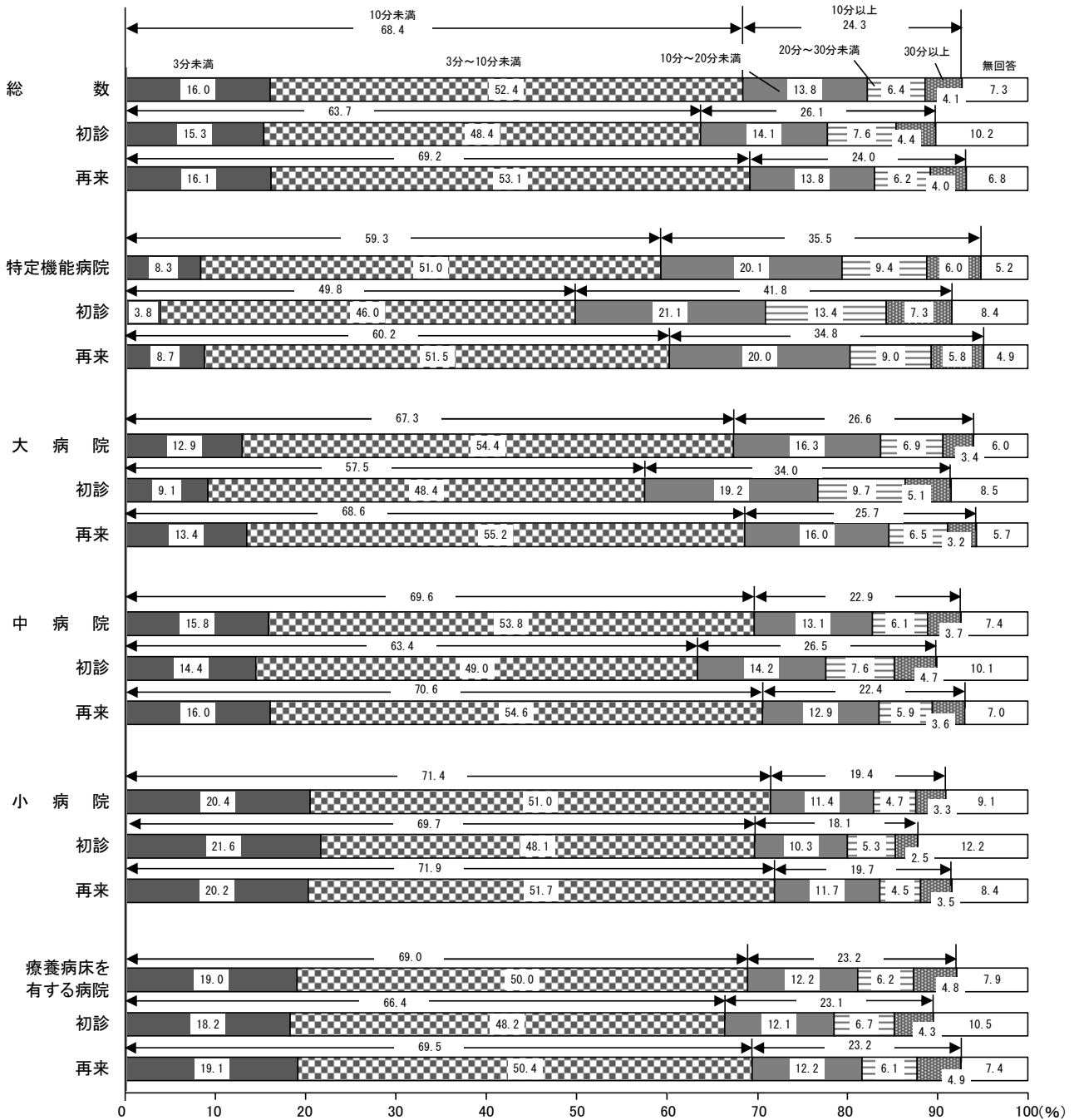
(4) 初診－再来別にみた診察時間

外来患者の診察時間を初診・再来別にみると、「10分未満」では初診 63.7%、再来 69.2%と再来の方が高く、「10分以上」では初診 26.1%、再来 24.0%と初診の方が高くなっている。

病院の種類別にみると、すべての病院において初診、再来とも「3分～10分未満」が最も多くなっている。(図5)

追加 図5 病院種類、初診－再来別にみた外来患者の診察時間(関連集計)

平成 26 年



注：「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

3 来院の目的、診察・治療・検査などの内容（外来患者のみ）

(1) 病院の種類別

外来患者の来院の目的をみると、「診察・治療・検査などを受ける」は 92.9%、「健康診断（人間ドックを含む）・予防接種」は 4.7%となっている。

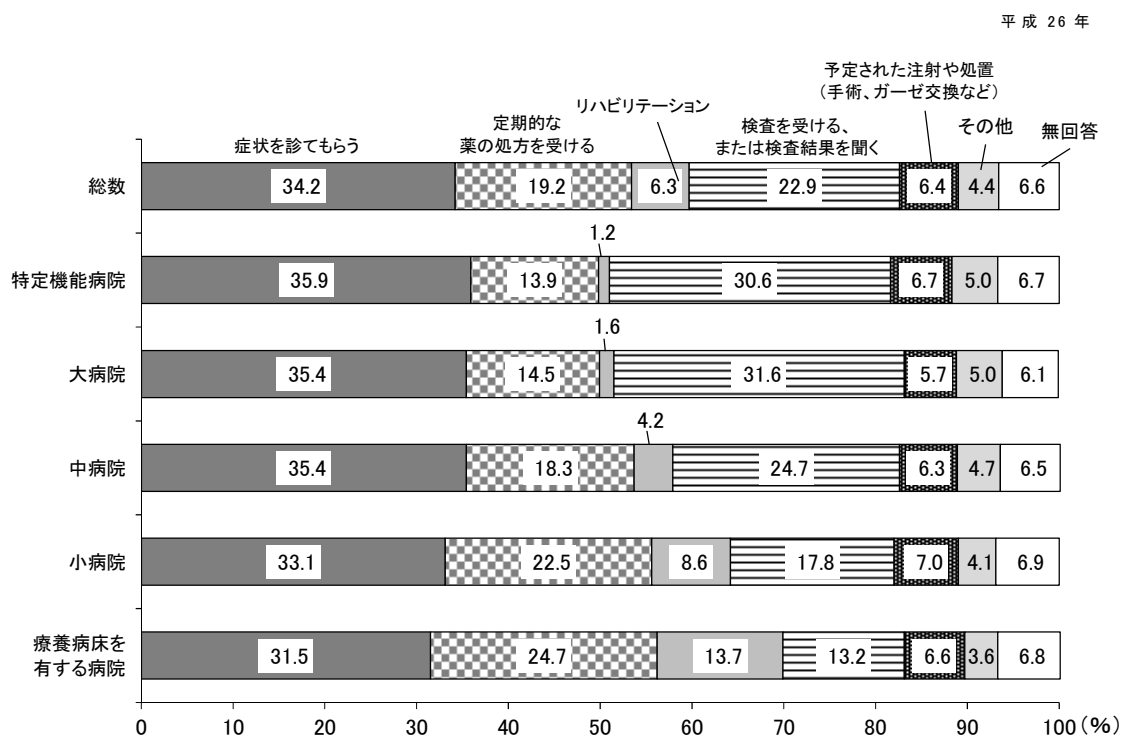
来院の目的を「診察・治療・検査などを受ける」と回答した者について、診察・治療・検査などの内容をみると、「症状を診てもらう」が 34.2%と最も多く、次いで、「検査を受ける、または検査結果を聞く」が 22.9%となっている。

病院の種類別にみると、すべての病院で「症状を診てもらう」が最も多く、次いで、特定機能病院、大病院及び中病院では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が、小病院及び療養病床を有する病院では「定期的な薬の処方を受ける」が多くなっている。（表2、図6）

表2 病院の種類別にみた外来患者の来院の目的、診察・治療・検査などの内容（基本集計）

	総数	診察・治療・検査などを受ける	診察・治療・検査などの内容							健康診断（人間ドックを含む）・予防接種	無回答
			症状を診てもらう	定期的な薬の処方を受ける	リハビリテーション	検査を受ける、または検査結果を聞く	予定された注射や処置（手術、ガーゼ交換など）	その他	無回答		
総数	100.0	92.9 (100.0)	(34.2)	(19.2)	(6.3)	(22.9)	(6.4)	(4.4)	(6.6)	4.7	2.4
特定機能病院	100.0	98.2 (100.0)	(35.9)	(13.9)	(1.2)	(30.6)	(6.7)	(5.0)	(6.7)	0.5	1.3
大病院	100.0	96.3 (100.0)	(35.4)	(14.5)	(1.6)	(31.6)	(5.7)	(5.0)	(6.1)	2.1	1.5
中病院	100.0	92.9 (100.0)	(35.4)	(18.3)	(4.2)	(24.7)	(6.3)	(4.7)	(6.5)	4.7	2.3
小病院	100.0	91.4 (100.0)	(33.1)	(22.5)	(8.6)	(17.8)	(7.0)	(4.1)	(6.9)	5.9	2.7
療養病床を有する病院	100.0	89.6 (100.0)	(31.5)	(24.7)	(13.7)	(13.2)	(6.6)	(3.6)	(6.8)	7.2	3.2

図6 病院の種類別にみた外来患者の診察・治療・検査などの内容（基本集計）



注：「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を 100 とした割合である。

関連集計 (患者調査)	傷病分類
----------------	------

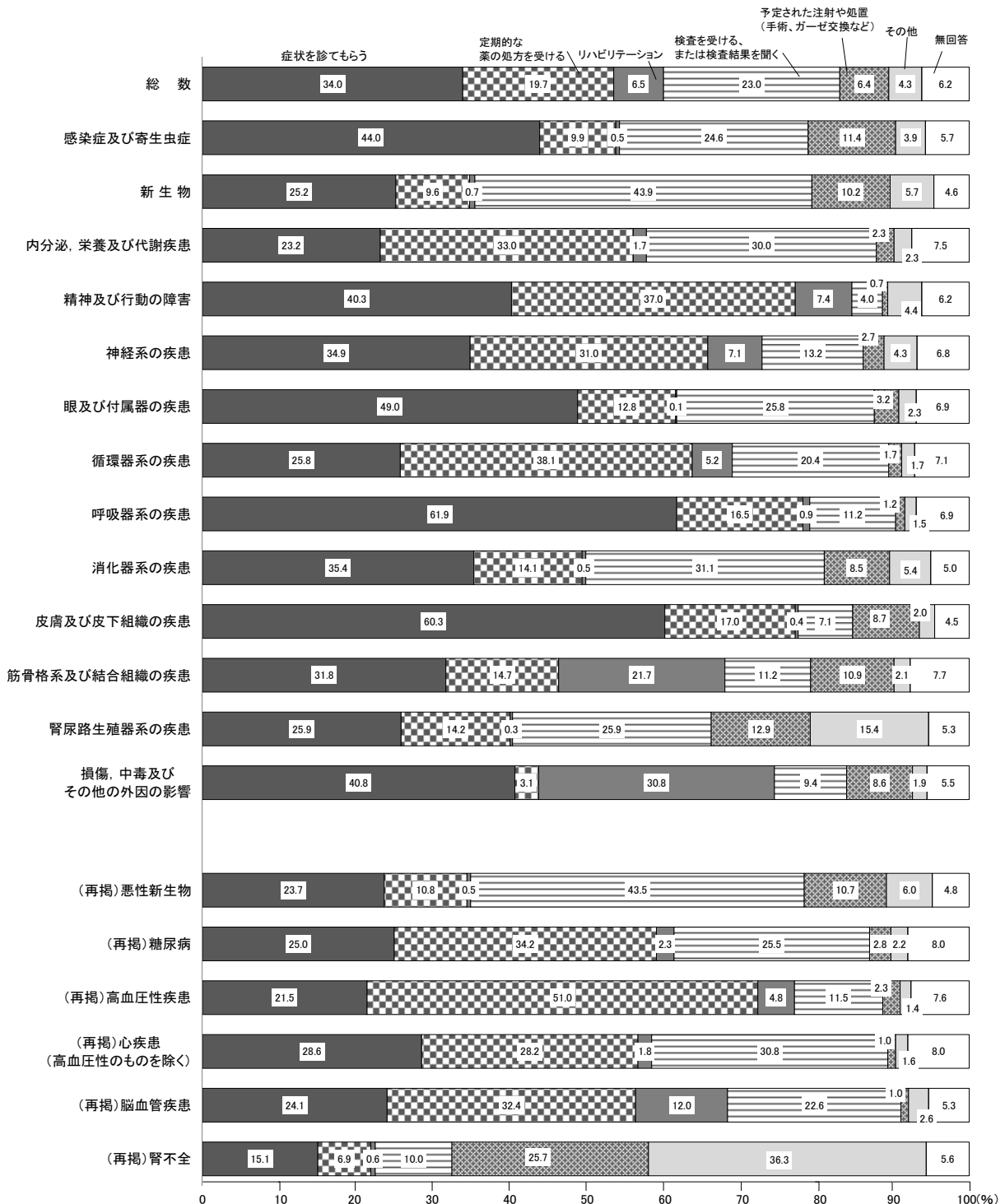
(2) 主な傷病分類別

主な傷病分類別に診察・治療・検査などの内容をみると、「新生物」では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が 43.9%と最も多く、「循環器系の疾患」では「定期的な薬の処方を受ける」が 38.1%と最も多くなっている。「呼吸器系の疾患」では「症状を診てもらう」が 61.9%と最も多くなっている。(図7)

追加

図7 主な傷病分類別にみた外来患者の診察・治療・検査などの内容(関連集計)

平成 26 年



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を100とした割合である。

4 緊急入院・予定入院、入院までの期間、入院までに時間がかかった理由 (入院患者のみ)

入院患者の入院時の状況をみると、「緊急入院(外来を受診してすぐ)または救急搬送」は41.6%、「予定入院(予約をしてからの入院)」は56.4%となっている。

「予定入院(予約をしてからの入院)」と回答した者について、入院までの期間(入院が必要と診断されてから実際に入院するまでの期間)をみると、「1週間未満」が39.3%と最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が34.7%、「1か月～6か月未満」が15.8%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「1週間～1か月未満」が最も多く、次いで、「1週間未満」が多くなっている。また、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「1週間未満」が最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が多くなっている。(表3)

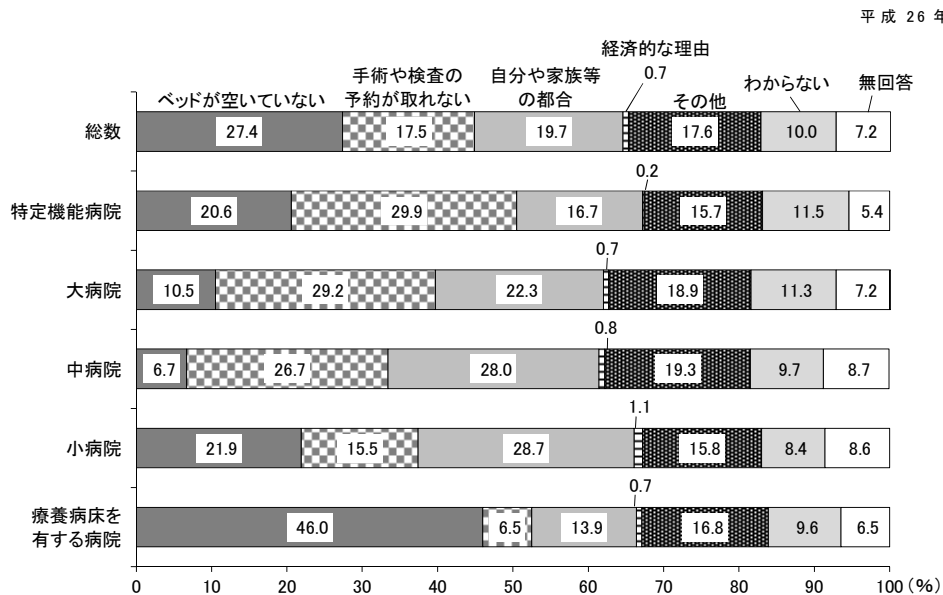
表3 病院の種類別にみた入院患者の緊急入院・予定入院、入院までの期間(基本集計)

	総数	緊急入院(外来を受診してすぐ)または救急搬送	予定入院(予約をしてからの入院)	入院までの期間						無回答
				1週間未満	1週間～1か月未満	1か月～6か月未満	6か月以上	覚えていない	無回答	
				(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
総数	100.0	41.6	56.4	(39.3)	(34.7)	(15.8)	(2.5)	(4.6)	(3.2)	2.0
特定機能病院	100.0	30.9	68.2	(26.8)	(39.9)	(26.3)	(4.0)	(0.9)	(2.1)	0.8
大病院	100.0	47.0	51.7	(35.3)	(37.4)	(20.3)	(3.3)	(1.4)	(2.4)	1.3
中病院	100.0	50.3	47.7	(40.5)	(36.3)	(16.5)	(2.6)	(1.4)	(2.8)	2.0
小病院	100.0	45.6	51.8	(47.7)	(28.2)	(15.2)	(3.1)	(2.1)	(3.7)	2.6
療養病床を有する病院	100.0	35.2	62.4	(40.5)	(33.1)	(13.0)	(1.9)	(7.7)	(3.7)	2.4

「予定入院(予約をしてからの入院)」と回答した者のうち、入院までの期間が「1週間以上」の者について入院までに時間がかかった理由をみると、「ベッドが空いていない」が27.4%と最も多く、次いで、「自分や家族等の都合」が19.7%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「手術や検査の予約が取れない」が、中病院及び小病院では「自分や家族等の都合」、療養病床を有する病院では「ベッドが空いていない」が最も多くなっている。(図8)

図8 病院の種類別にみた入院患者の入院までに時間がかかった理由(基本集計)



注:「予定入院(予約をしてからの入院)」で入院した者で、入院までの期間が「1週間以上」の者を100とした割合である。

5 自覚症状（外来患者のみ）

（1）自覚症状の有無、自覚症状はなかったが受診した理由（複数回答）

外来患者が受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時、「自覚症状があった」は69.2%、「自覚症状がなかった」は25.1%となっている(図9、統計表4)。

「自覚症状がなかった」と回答した者の受診した理由をみると、「健康診断(人間ドック含む)で指摘された」が40.4%と最も高く、次いで、「他の医療機関等で受診を勧められた」が23.5%となっている(図10、統計表4)。

図9 外来患者の自覚症状の有無(基本集計)

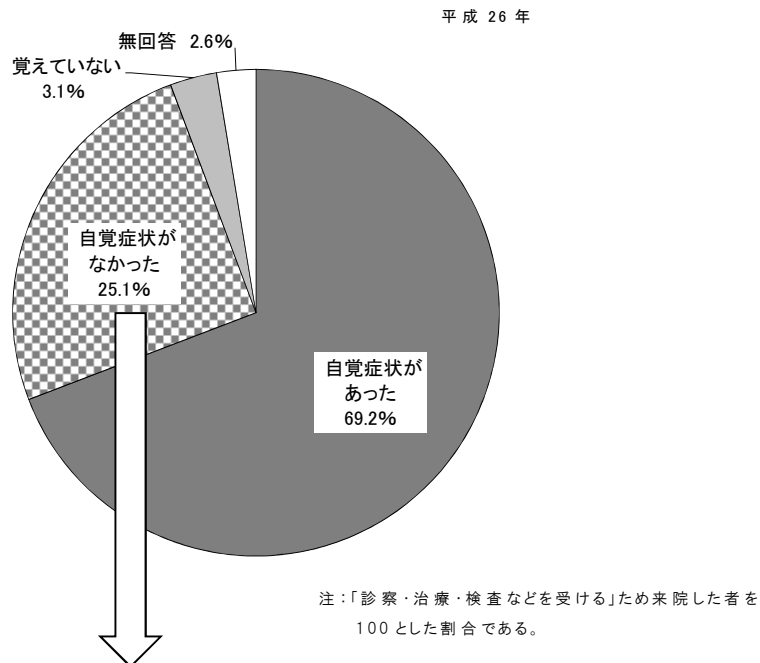
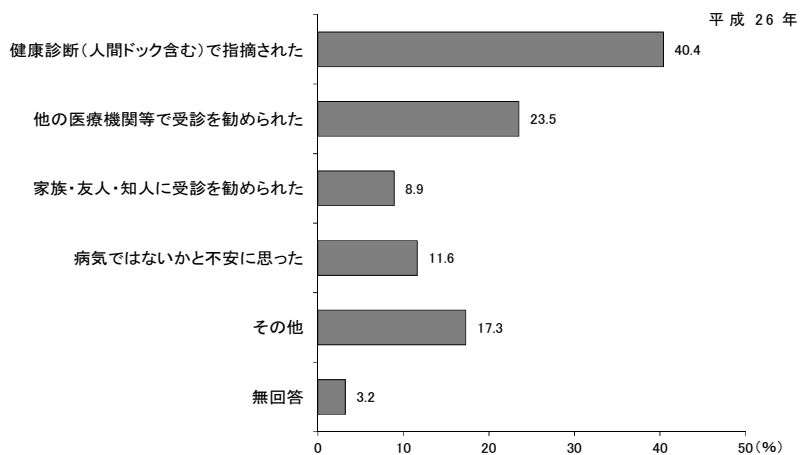


図10 外来患者の自覚症状はなかったが受診した理由(複数回答)(基本集計)



（2）受診までの期間、受診までに時間がかかった理由（複数回答）

「自覚症状があった」「自覚症状がなかった」と回答した者について、受診までの期間(症状を自覚した時から、又は自覚症状がなかったが受診した理由が生じた時から最初の受診までの期間)をみると、「1週間～1か月未満」が17.6%と最も多く、次いで、「1～3日」が15.8%となっている。

受診までの期間を自覚症状の有無別にみると、「自覚症状があった」では「1～3日」が最も多く18.1%、「自覚症状がなかった」では「1週間～1か月未満」が最も多く20.7%となっている。(表4、統計表5)

表4 自覚症状の有無別にみた外来患者の受診までの期間(基本集計)

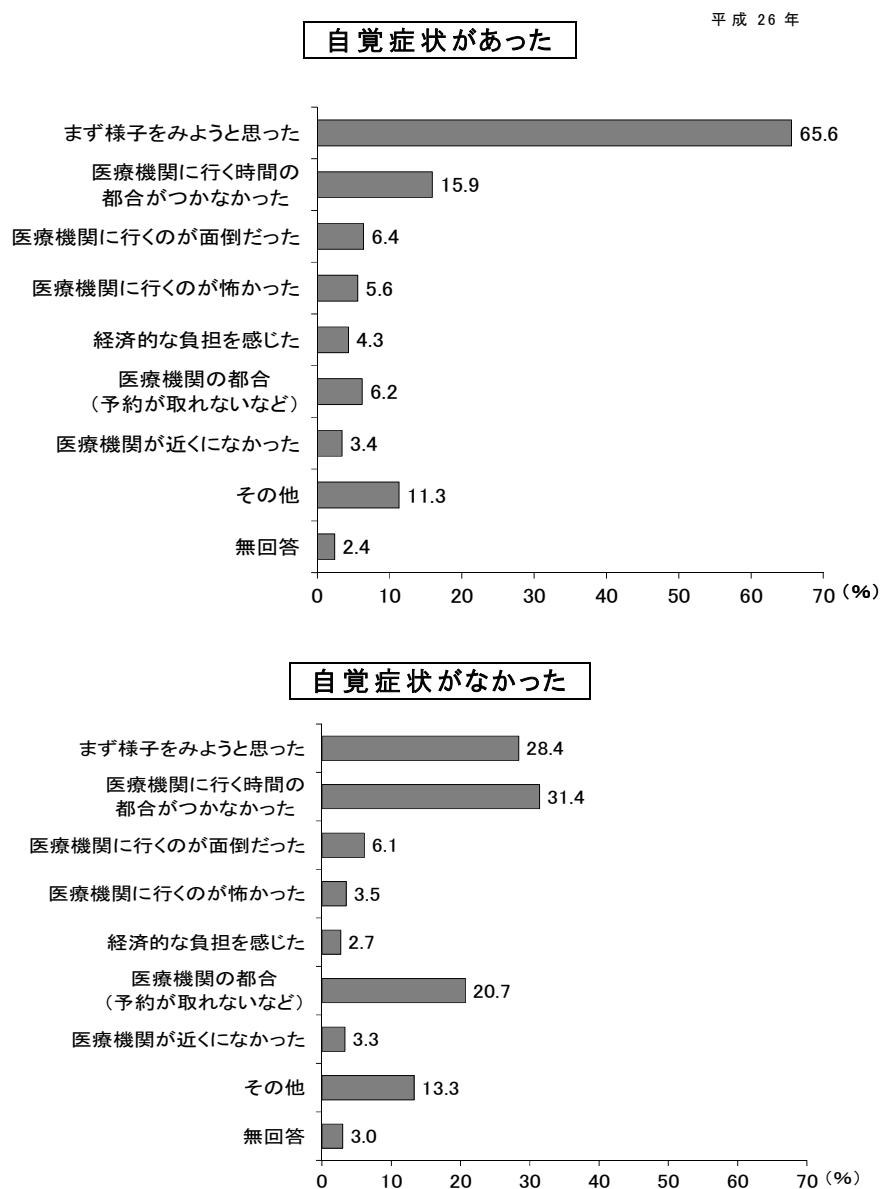
(単位:%) 平成26年

	総数	24時間未満	1～3日	4～6日	1週間～1か月未満	1か月～3か月未満	3か月以上	覚えていない	無回答
総数	100.0	13.7	15.8	7.5	17.6	9.8	11.4	13.4	10.7
自覚症状があった	100.0	16.5	18.1	7.8	16.5	9.6	12.7	11.8	7.0
自覚症状がなかった	100.0	6.1	9.5	6.6	20.7	10.4	7.9	18.0	20.8

注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

受診までの期間が「1週間以上」の者について、自覚症状の有無別に受診までに時間がかかった理由をみると、「自覚症状があった」では「まず様子をみようと思った」が最も高く 65.6%、「自覚症状がなかった」では「医療機関に行く時間の都合がつかなかった」が最も高く 31.4%となっている(図 11、統計表6)。

図 11 外来患者の受診までに時間がかかった理由(複数回答)(基本集計)



注:1)「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

2) 受診までの期間が「1週間以上」の者を100とした割合である。

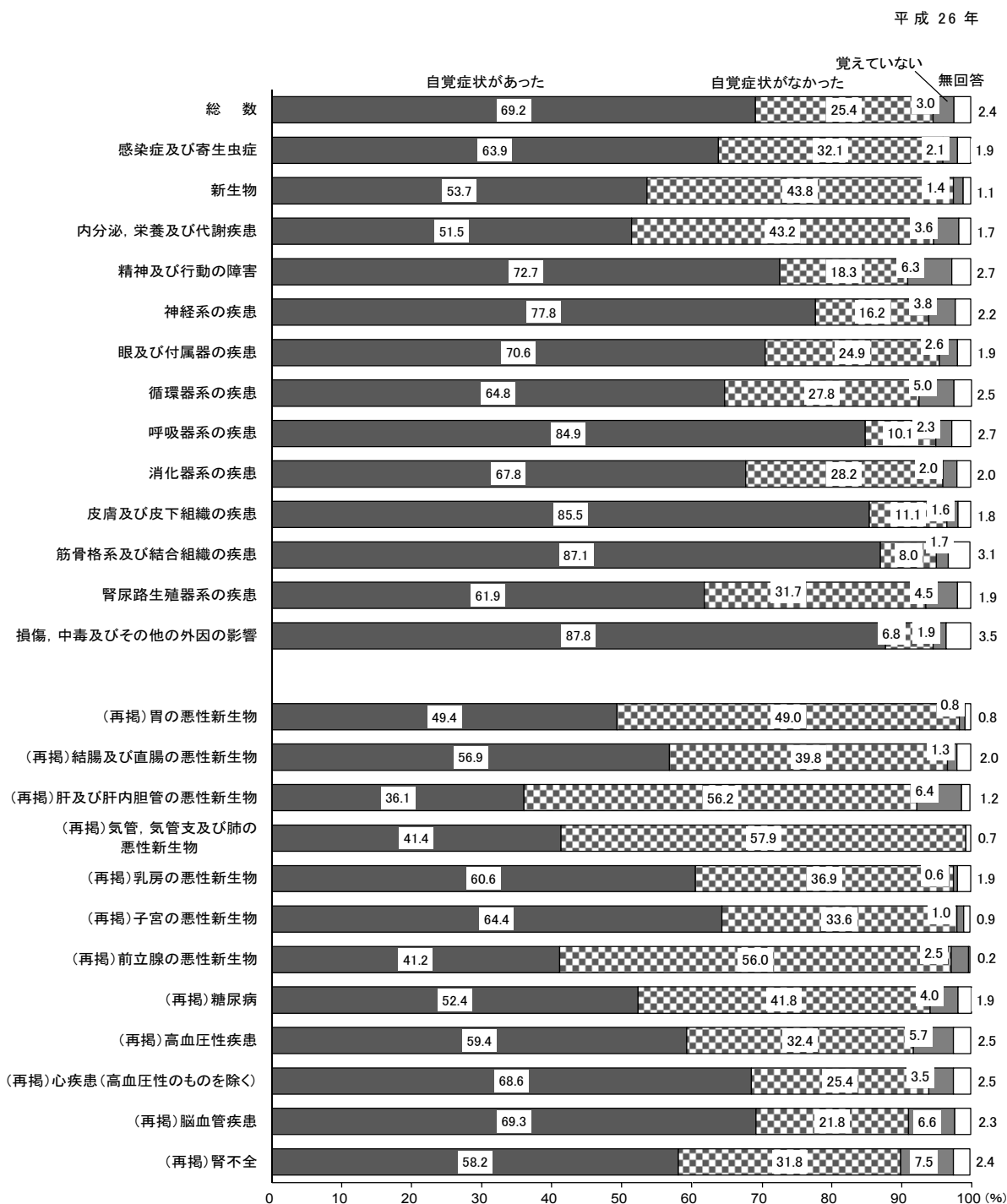
関連集計 (患者調査)	傷病分類
----------------	------

(3) 主な傷病分類別にみた自覚症状の有無

主な傷病分類別に自覚症状の有無をみると、「自覚症状がなかった」は、「新生物」で43.8%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で43.2%と高くなっている。

悪性新生物についてみると、「自覚症状がなかった」が多かったものは、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」が57.9%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」が56.2%、「前立腺の悪性新生物」が56.0%となっている。(図12)

追加 図12 主な傷病分類別にみた外来患者の自覚症状の有無(関連集計)



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を100とした割合である。

6 医師からの説明の有無、程度、説明に対する疑問や意見

(1) 医師からの説明の有無、説明の程度

病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から説明を受けたと回答した者は、外来で95.6%、入院で94.3%となっている。また、医師から説明を受けた者について、「説明は十分だった」は外来が94.0%、入院が93.6%、「説明は十分ではなかった」は外来が6.0%、入院が6.4%となっている。(表5)

表5 外来－入院、病院の種類別にみた医師からの説明の有無、説明の程度(基本集計)

	総数	説明を受けた									説明を受けていない	無回答
		説明は十分だった			説明は十分ではなかった			説明は十分ではなかった				
		十分だった	まあまあ十分だった	まあまあ十分ではなかった	十分ではなかった	まあまあ十分ではなかった	まあまあ十分ではなかった	十分ではなかった	まあまあ十分ではなかった	まあまあ十分ではなかった		
外来	100.0	95.6	(100.0)	(94.0)	(58.8)	(35.2)	(6.0)	(4.3)	(1.7)	0.5	3.9	
特定機能病院	100.0	97.1	(100.0)	(93.6)	(59.0)	(34.5)	(6.4)	(4.6)	(1.8)	0.4	2.5	
大病院	100.0	96.5	(100.0)	(93.4)	(57.0)	(36.4)	(6.6)	(4.8)	(1.8)	0.4	3.0	
中病院	100.0	95.2	(100.0)	(93.9)	(58.4)	(35.5)	(6.1)	(4.5)	(1.6)	0.5	4.3	
小病院	100.0	95.0	(100.0)	(94.4)	(58.6)	(35.8)	(5.6)	(4.1)	(1.5)	0.6	4.5	
療養病床を有する病院	100.0	95.2	(100.0)	(94.5)	(60.7)	(33.8)	(5.5)	(3.8)	(1.8)	0.6	4.2	
入院	100.0	94.3	(100.0)	(93.6)	(67.0)	(26.6)	(6.4)	(4.4)	(2.0)	2.2	3.5	
特定機能病院	100.0	97.9	(100.0)	(95.9)	(71.0)	(24.9)	(4.1)	(3.0)	(1.0)	0.5	1.7	
大病院	100.0	96.5	(100.0)	(95.0)	(70.7)	(24.3)	(5.0)	(3.4)	(1.6)	0.9	2.5	
中病院	100.0	95.6	(100.0)	(94.9)	(70.6)	(24.3)	(5.1)	(3.6)	(1.5)	1.2	3.2	
小病院	100.0	95.0	(100.0)	(93.0)	(66.5)	(26.5)	(7.0)	(5.0)	(2.1)	2.0	3.0	
療養病床を有する病院	100.0	92.4	(100.0)	(92.1)	(63.1)	(29.0)	(7.9)	(5.2)	(2.7)	3.3	4.3	

注：外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者を100とした割合である。

(2) 医師から受けた説明に対する疑問や意見

医師から診断や治療方針の説明を受けた者について、疑問や意見を医師に「伝えられた」は外来が88.5%、入院が84.1%、「伝えられなかった」は外来が6.2%、入院が6.8%となっている(表6)。

表6 外来－入院、病院の種類別にみた医師から受けた説明に対する疑問や意見(基本集計)

	総数	疑問や意見は							無回答
		伝えられた			伝えられなかった				
		十分に伝えられた	まあまあ伝えられた	まあまあ伝えられなかった	あまり伝えられなかった	まったく伝えられなかった	疑問や意見はなかった		
外来	100.0	88.5	44.8	43.8	6.2	5.6	0.6	4.0	1.2
特定機能病院	100.0	89.4	43.9	45.6	6.9	6.4	0.5	2.9	0.8
大病院	100.0	88.6	42.6	46.0	7.1	6.4	0.7	3.4	1.0
中病院	100.0	88.7	44.6	44.1	6.0	5.5	0.6	4.0	1.2
小病院	100.0	87.2	44.9	42.3	6.4	5.9	0.5	4.8	1.6
療養病床を有する病院	100.0	88.6	47.0	41.6	5.5	4.8	0.7	4.5	1.4
入院	100.0	84.1	50.2	33.9	6.8	5.6	1.2	7.1	2.1
特定機能病院	100.0	89.4	51.8	37.6	4.7	4.2	0.5	4.6	1.3
大病院	100.0	86.1	51.0	35.1	5.8	5.0	0.8	6.2	1.9
中病院	100.0	86.6	52.7	33.9	5.1	4.2	0.9	6.2	2.0
小病院	100.0	80.5	51.1	29.4	7.6	6.2	1.4	9.4	2.5
療養病床を有する病院	100.0	81.5	48.0	33.5	8.3	6.8	1.6	8.0	2.2

注：1) 医師から説明を受けたと回答した者を100とした割合である。
2) 外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

7 入院の有無、外来の受診頻度(外来患者のみ)

外来患者の過去1年間の入院の有無をみると、「入院したことがあった」は30.6%、「入院したことがなかった」は65.0%となっている(表7)。

外来患者の過去1年間の外来の受診頻度は「2～9回」が最も多く33.4%となっている。

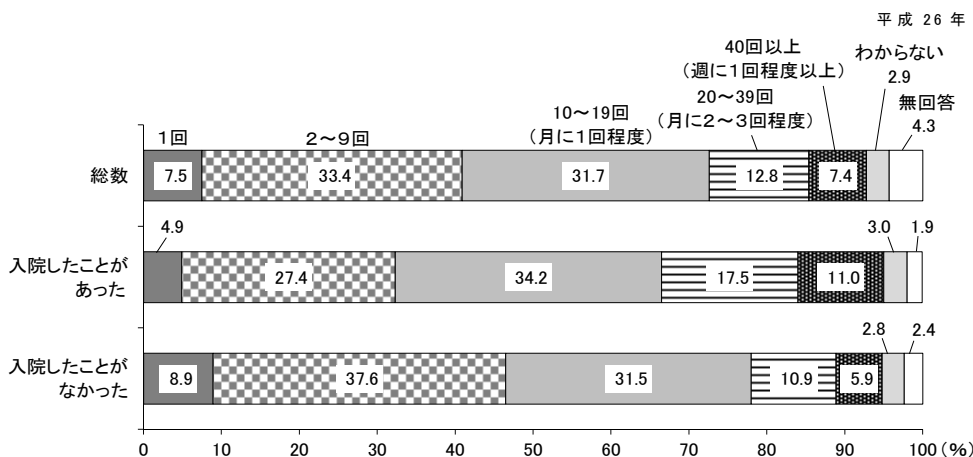
受診頻度を入院の有無別にみると、「入院したことがあった」では「10～19回(月に1回程度)」が最も多く34.2%、「入院したことがなかった」では「2～9回」が最も多く37.6%となっている。(図13、統計表7)

表7 病院の種類別にみた外来患者の入院の有無(基本集計)

	平成26年			
	総数	入院したことがあった	入院しなかった	無回答
総数	100.0	30.6	65.0	4.4
特定機能病院	100.0	35.6	61.8	2.5
大病院	100.0	33.8	63.2	3.0
中病院	100.0	31.2	64.3	4.5
小病院	100.0	26.5	68.5	5.0
療養病床を有する病院	100.0	27.7	66.7	5.6

注：入院の有無は、調査日から過去1年間の入院の状況(他の病院や診療所を含む。)である。

図13 入院の有無別にみた外来患者の外来の受診頻度(基本集計)



注：1)入院の有無の「総数」には、無回答を含む。
2)入院の有無及び外来の受診頻度は、調査日から過去1年間の状況である。

8 退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し(入院患者のみ)

(1) 病院の種類別

入院患者の退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しをみると、「自宅で療養できる」は54.2%、「自宅で療養できない」は25.9%となっている。

病院の種類別にみると、「自宅で療養できる」は特定機能病院が74.3%と最も高く、「自宅で療養できない」は療養病床を有する病院が39.6%と最も高くなっている。

「自宅で療養できない」と回答した者について、自宅療養を可能にする条件をみると、「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が41.8%と最も高く、次いで、「家族の協力」が35.7%、「療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)」が28.4%となっている。(表8)

表8 病院の種類別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(基本集計)

	平成26年																		
	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)											療養の必要がない	わからない	無回答		
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	診療所への連絡体制	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリ指導など)	療養のための指導致導	療養のための指導致導(手すりの設置など)	療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)	その他	整えられないのか	無回答			
総数	100.0	54.2	25.9	(100.0)	(35.7)	(41.8)	(21.4)	(25.0)	(24.6)	(25.5)	(19.9)	(28.4)	(23.6)	(12.0)	(5.7)	3.4	14.0	2.6	
特定機能病院	100.0	74.3	9.0	(100.0)	(41.0)	(35.0)	(30.3)	(21.3)	(28.2)	(30.8)	(19.0)	(26.9)	(15.3)	(6.5)	(4.1)	4.6	10.6	1.6	
大病院	100.0	71.1	10.8	(100.0)	(37.8)	(38.1)	(25.9)	(21.0)	(27.0)	(29.5)	(19.4)	(26.1)	(14.0)	(7.6)	(5.6)	5.0	11.3	1.9	
中病院	100.0	65.8	15.6	(100.0)	(36.3)	(41.6)	(22.9)	(22.1)	(24.3)	(28.0)	(20.4)	(26.7)	(18.1)	(8.9)	(6.4)	4.1	11.9	2.5	
小病院	100.0	59.9	19.5	(100.0)	(32.6)	(40.4)	(18.4)	(19.6)	(19.5)	(21.2)	(17.3)	(26.3)	(21.5)	(12.6)	(6.7)	3.7	13.9	3.0	
療養病床を有する病院	100.0	38.6	39.6	(100.0)	(35.4)	(42.4)	(20.6)	(26.5)	(24.6)	(24.6)	(20.0)	(29.2)	(26.1)	(13.3)	(5.6)	2.3	16.6	2.9	

関連集計 (患者調査)	病床の種類
----------------	-------

(2) 病床の種類、同居の有無別

病床の種類別にみると、療養病床では「自宅で療養できる」が 29.3%、「自宅で療養できない」が 48.9%となっている。一方、一般病床では「自宅で療養できる」が 64.4%、「自宅で療養できない」が 16.8%となっている。

同居の有無別にみると、「同居人なし」は「同居人あり」に比べ、「自宅で療養できない」の割合が高く、特に療養病床の「同居人なし」は「自宅で療養できない」が 54.9%となっている。(表9)

追加 表9 病床の種類、同居の有無別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(関連集計)

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)											療養の必要がない	わからない	無回答	
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリ指導など)	療養のための改築(手すりの設置など)	療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)	その他	整えばいいのかわからない	無回答				
総数	100.0	54.4	25.5	(100.0)	(34.5)	(40.4)	(20.8)	(25.1)	(23.6)	(27.0)	(20.1)	(28.8)	(25.0)	(12.0)	(5.8)	3.3	14.5	2.3
同居人あり	100.0	60.1	21.5	(100.0)	(37.1)	(42.8)	(21.7)	(28.4)	(27.2)	(31.2)	(23.3)	(33.1)	(24.3)	(10.2)	(4.7)	3.6	13.1	1.7
夫婦のみ	100.0	63.5	19.7	(100.0)	(34.0)	(43.3)	(23.1)	(29.1)	(27.3)	(32.0)	(24.6)	(31.9)	(19.6)	(13.4)	(4.3)	4.0	11.3	1.5
子と同居	100.0	57.3	23.2	(100.0)	(39.6)	(44.4)	(20.9)	(29.6)	(27.1)	(29.9)	(24.4)	(35.6)	(28.8)	(8.4)	(4.4)	3.3	14.5	1.7
その他と同居	100.0	61.1	20.5	(100.0)	(35.9)	(38.5)	(21.2)	(24.2)	(27.9)	(33.5)	(17.3)	(26.9)	(20.9)	(9.8)	(6.0)	3.8	13.0	1.7
同居人なし	100.0	40.1	36.8	(100.0)	(31.1)	(38.0)	(20.2)	(20.8)	(18.9)	(21.1)	(15.3)	(23.4)	(26.4)	(14.9)	(6.8)	2.7	18.2	2.1
療養病床(再掲)	100.0	29.3	48.9	(100.0)	(31.9)	(40.6)	(20.1)	(27.0)	(24.5)	(26.2)	(21.1)	(31.6)	(29.8)	(15.5)	(5.9)	1.3	18.0	2.5
同居人あり	100.0	33.8	46.0	(100.0)	(34.4)	(43.1)	(20.0)	(30.6)	(26.3)	(28.5)	(25.3)	(36.6)	(30.2)	(12.6)	(5.6)	1.0	17.0	2.2
夫婦のみ	100.0	40.7	46.4	(100.0)	(28.9)	(39.1)	(20.5)	(29.9)	(22.1)	(26.3)	(28.2)	(34.1)	(26.9)	(17.5)	(4.7)	1.3	9.9	1.6
子と同居	100.0	31.7	44.9	(100.0)	(39.8)	(45.4)	(19.0)	(32.7)	(27.5)	(26.6)	(26.2)	(40.8)	(34.0)	(10.2)	(4.8)	0.9	20.2	2.2
その他と同居	100.0	28.8	49.2	(100.0)	(27.4)	(43.2)	(22.7)	(25.3)	(30.0)	(36.5)	(16.0)	(26.4)	(24.5)	(12.4)	(9.9)	0.6	18.0	3.3
同居人なし	100.0	21.2	54.9	(100.0)	(28.2)	(38.3)	(20.7)	(22.4)	(22.9)	(23.6)	(15.7)	(25.5)	(29.7)	(20.1)	(5.3)	1.9	20.2	1.8
一般病床(再掲)	100.0	64.4	16.8	(100.0)	(35.9)	(41.1)	(21.7)	(23.5)	(23.7)	(29.0)	(19.8)	(27.0)	(20.1)	(8.5)	(5.8)	4.0	12.7	2.0
同居人あり	100.0	68.6	14.0	(100.0)	(39.7)	(43.1)	(23.7)	(26.4)	(28.4)	(34.5)	(21.3)	(29.7)	(18.6)	(7.9)	(3.9)	4.3	11.6	1.5
夫婦のみ	100.0	69.3	13.3	(100.0)	(37.9)	(46.4)	(24.9)	(27.9)	(31.3)	(36.4)	(21.0)	(29.6)	(13.4)	(10.0)	(4.0)	4.4	11.6	1.4
子と同居	100.0	67.1	15.3	(100.0)	(39.5)	(43.0)	(23.2)	(26.1)	(26.6)	(33.7)	(22.5)	(30.1)	(23.1)	(6.6)	(4.0)	4.1	12.1	1.5
その他と同居	100.0	71.3	12.1	(100.0)	(45.3)	(38.1)	(21.4)	(24.8)	(29.4)	(33.7)	(19.0)	(27.8)	(16.7)	(6.8)	(2.5)	4.8	10.4	1.4
同居人なし	100.0	51.4	26.8	(100.0)	(30.2)	(39.1)	(19.3)	(19.2)	(15.9)	(19.8)	(16.4)	(23.6)	(23.2)	(9.7)	(8.7)	3.0	16.6	2.2

注:1)同居の有無の総数には、「無回答」を含む。
2)「同居人あり」には、同居の続柄が「無回答」を含む。

(3) 性・年齢階級別

性・年齢階級別にみると、「自宅で療養できる」と回答した者の割合は、男女ともに年齢階級が上がるにしたがい低下している(表 10)。

追加

表 10 性・年齢階級別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(基本集計)

(単位:%) 平成26年

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)										療養の必要がない	わからない	無回答		
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリなど)	療養のための改築(手すりの設置など)	(車いす、ベッドなど)療養に必要な用具	その他	整えばいいのかわからない				無回答	
総数	100.0	54.2	25.9	(100.0)	(35.7)	(41.8)	(21.4)	(25.0)	(24.6)	(25.5)	(19.9)	(28.4)	(23.6)	(12.0)	(5.7)	3.4	14.0	2.6
0～14歳	100.0	83.6	3.7	(100.0)	(64.6)	(20.5)	(10.6)	(18.7)	(34.5)	(31.2)	(12.8)	(23.8)	(16.3)	(2.9)	(1.2)	5.8	6.1	0.9
15～39	100.0	75.2	6.3	(100.0)	(54.0)	(18.6)	(28.5)	(16.2)	(20.4)	(31.3)	(15.0)	(20.0)	(21.4)	(5.0)	(2.8)	7.3	10.3	0.9
40～64	100.0	66.1	12.4	(100.0)	(34.9)	(30.1)	(25.4)	(21.9)	(22.3)	(30.5)	(20.4)	(22.9)	(23.4)	(10.4)	(5.1)	6.4	13.3	1.9
65～74	100.0	63.0	16.8	(100.0)	(34.4)	(38.1)	(22.7)	(22.5)	(22.4)	(27.7)	(21.5)	(27.4)	(19.9)	(14.4)	(5.2)	4.0	13.8	2.4
75歳以上	100.0	44.2	35.8	(100.0)	(35.5)	(44.1)	(20.7)	(25.9)	(25.2)	(24.5)	(19.8)	(29.3)	(24.3)	(12.0)	(6.0)	1.8	15.0	3.0
男	100.0	58.4	21.3	(100.0)	(34.2)	(40.7)	(23.7)	(27.2)	(25.8)	(27.1)	(20.3)	(28.5)	(21.3)	(11.1)	(6.2)	4.1	13.6	2.5
0～14歳	100.0	83.6	3.6	(100.0)	(70.6)	(12.6)	(3.6)	(15.4)	(43.7)	(40.1)	(9.0)	(18.6)	(16.4)	(5.3)	(-)	6.2	5.8	0.8
15～39	100.0	72.1	7.3	(100.0)	(39.7)	(25.3)	(34.5)	(23.4)	(23.6)	(46.3)	(24.1)	(29.9)	(18.2)	(5.2)	(5.9)	6.4	13.5	0.7
40～64	100.0	64.8	12.1	(100.0)	(28.6)	(31.6)	(25.6)	(21.8)	(22.8)	(30.6)	(20.9)	(23.1)	(22.5)	(10.0)	(4.7)	7.2	13.9	2.1
65～74	100.0	63.9	15.9	(100.0)	(34.5)	(39.0)	(23.4)	(25.5)	(22.8)	(28.8)	(20.9)	(27.7)	(18.7)	(14.3)	(5.2)	4.2	13.7	2.3
75歳以上	100.0	49.4	31.1	(100.0)	(34.7)	(43.4)	(23.4)	(28.9)	(27.1)	(25.5)	(20.1)	(29.8)	(21.9)	(10.6)	(6.7)	2.3	14.1	3.2
女	100.0	50.6	29.7	(100.0)	(36.5)	(42.5)	(20.0)	(23.7)	(23.8)	(24.5)	(19.7)	(28.3)	(25.0)	(12.6)	(5.5)	2.8	14.3	2.6
0～14歳	100.0	83.5	3.8	(100.0)	(57.4)	(30.2)	(19.2)	(22.7)	(23.3)	(20.2)	(17.4)	(30.2)	(16.1)	(-)	(2.7)	5.3	6.4	1.0
15～39	100.0	77.4	5.6	(100.0)	(67.2)	(12.4)	(22.9)	(9.5)	(17.4)	(17.4)	(6.6)	(10.9)	(24.4)	(4.8)	(-)	8.0	8.0	1.0
40～64	100.0	67.9	12.8	(100.0)	(43.2)	(28.2)	(25.0)	(22.1)	(21.6)	(30.3)	(19.8)	(22.6)	(24.6)	(10.9)	(5.5)	5.2	12.4	1.7
65～74	100.0	61.9	17.9	(100.0)	(34.2)	(37.0)	(21.9)	(18.9)	(21.9)	(26.4)	(22.2)	(27.2)	(21.4)	(14.5)	(5.2)	3.8	13.8	2.6
75歳以上	100.0	41.2	38.7	(100.0)	(35.9)	(44.5)	(19.5)	(24.5)	(24.3)	(24.0)	(19.6)	(29.1)	(25.4)	(12.7)	(5.6)	1.6	15.6	2.9

注:年齢の総数には、年齢不詳を含む。

9 満足度

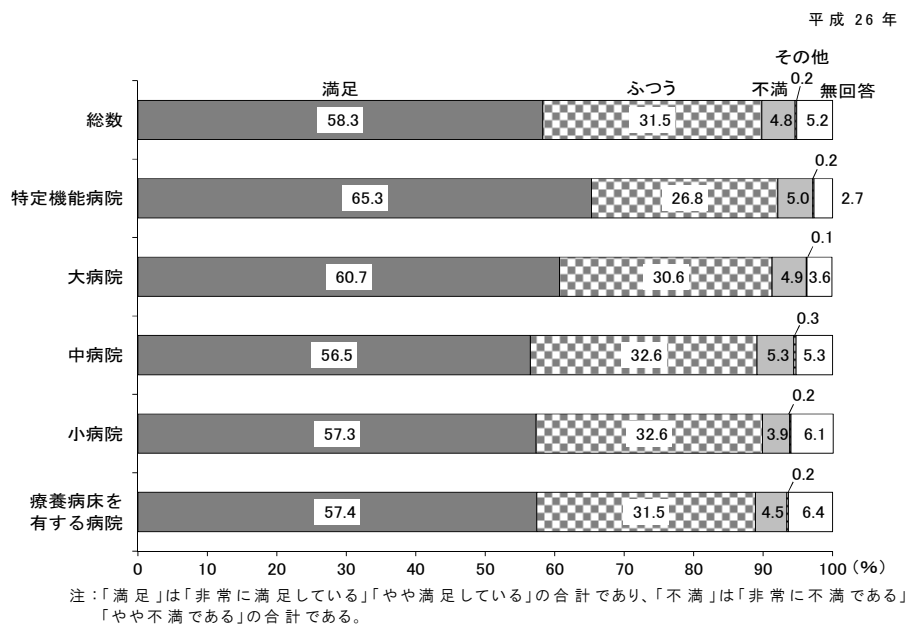
(1) 外来患者の病院に対する満足度

① 全体的な満足度

調査日に受診した病院を全体として「満足」と回答した外来患者は 58.3%、「不満」と回答した外来患者は 4.8%となっている。

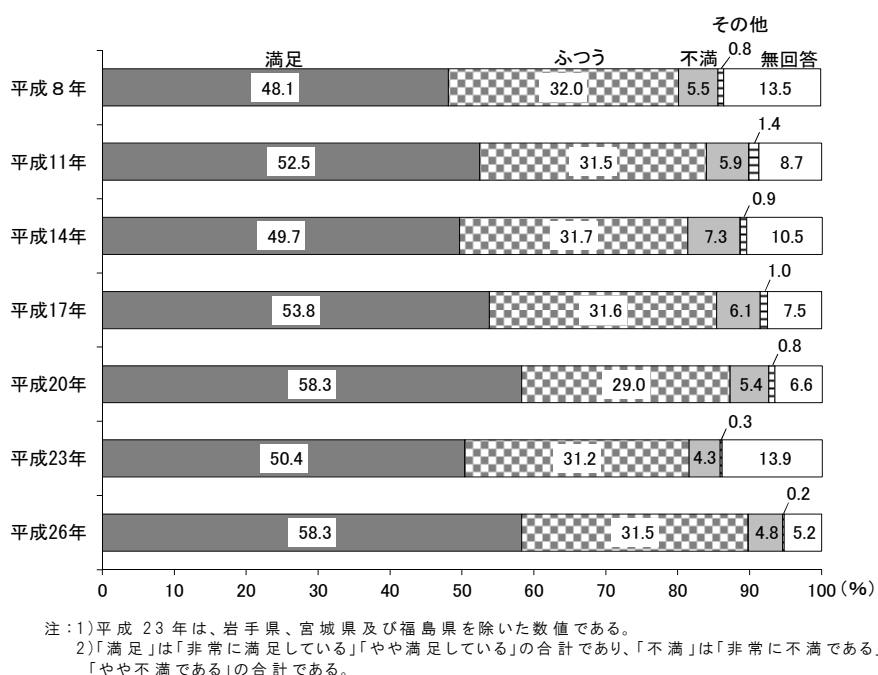
病院の種類別にみると、「満足」と回答した外来患者は特定機能病院で 65.3%と最も高くなっている。(図 14、統計表 8)

図 14 病院の種類別にみた外来患者の病院に対する全体的な満足度(基本集計)



外来患者の病院に対する全体的な満足度を年次推移で見ると、「満足」が5~6割程度で推移している(図 15)。

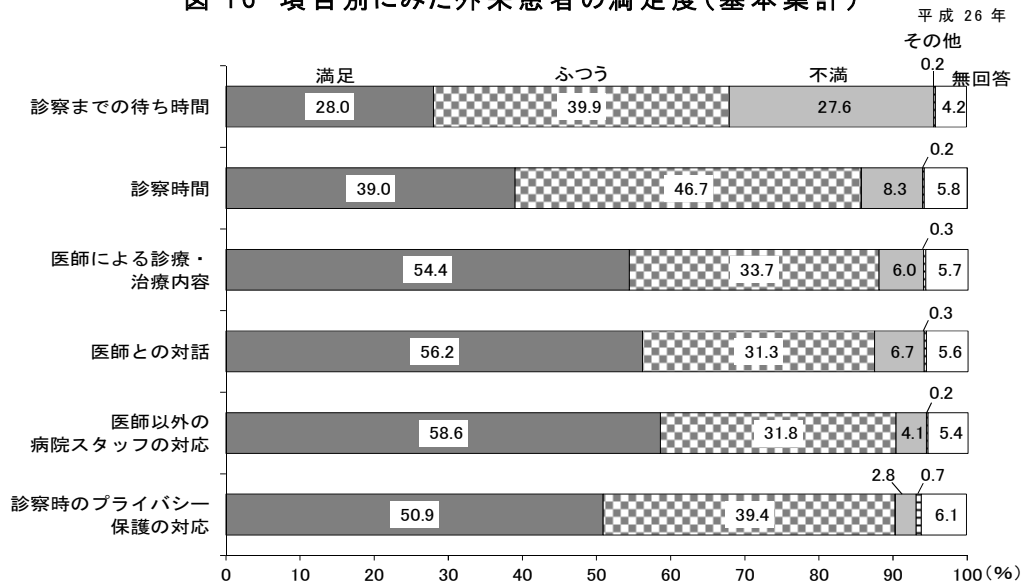
図 15 外来患者の病院に対する全体的な満足度の年次推移(基本集計)



②項目別の満足度

項目別に外来患者の満足度をみると、「医師による診療・治療内容」「医師との対話」「医師以外の病院スタッフの対応」「診察時のプライバシー保護の対応」は「満足」が5割を超えているが、「診察までの待ち時間」は「満足」が3割弱となっている(図16、統計表8)。

図16 項目別にみた外来患者の満足度(基本集計)

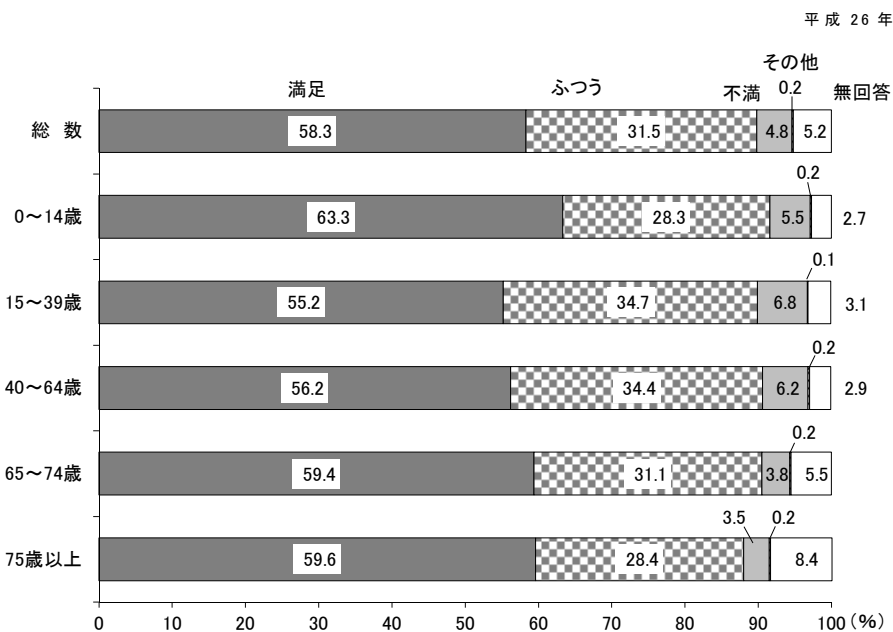


注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

③年齢階級別の満足度

年齢階級別に外来患者の満足度をみると、「満足」の割合は「0～14歳」が63.3%と最も高くなっている(図17)。

追加 図17 年齢階級別にみた外来患者の病院に対する全体的な満足度(基本集計)



注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)年齢の総数には年齢不詳を含む。

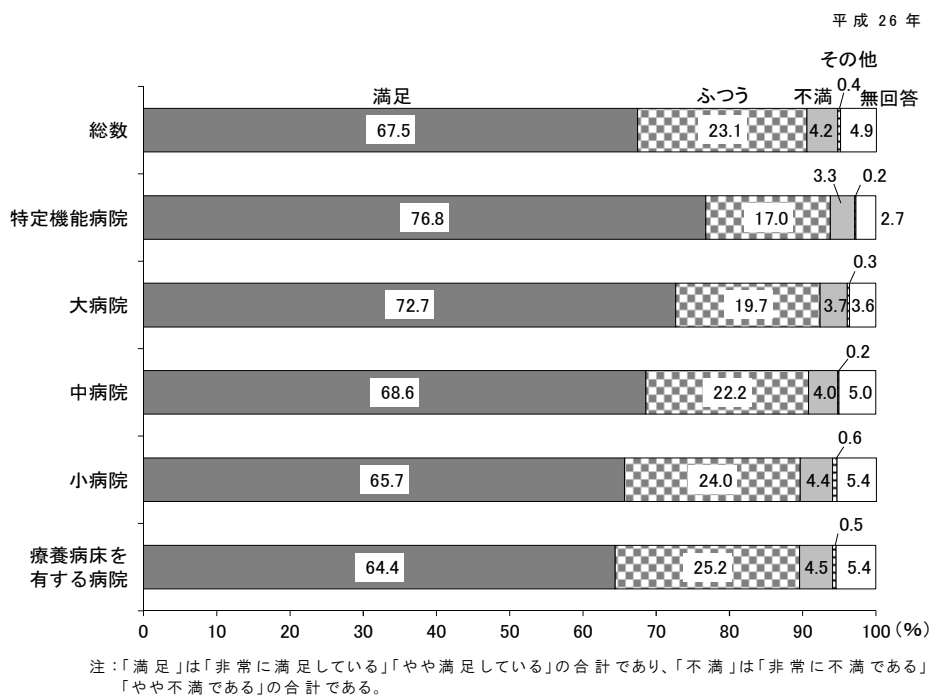
(2) 入院患者の病院に対する満足度

① 全体的な満足度

調査日に入院している病院を全体として「満足」と回答した入院患者は 67.5%、「不満」と回答した入院患者は 4.2%となっている。

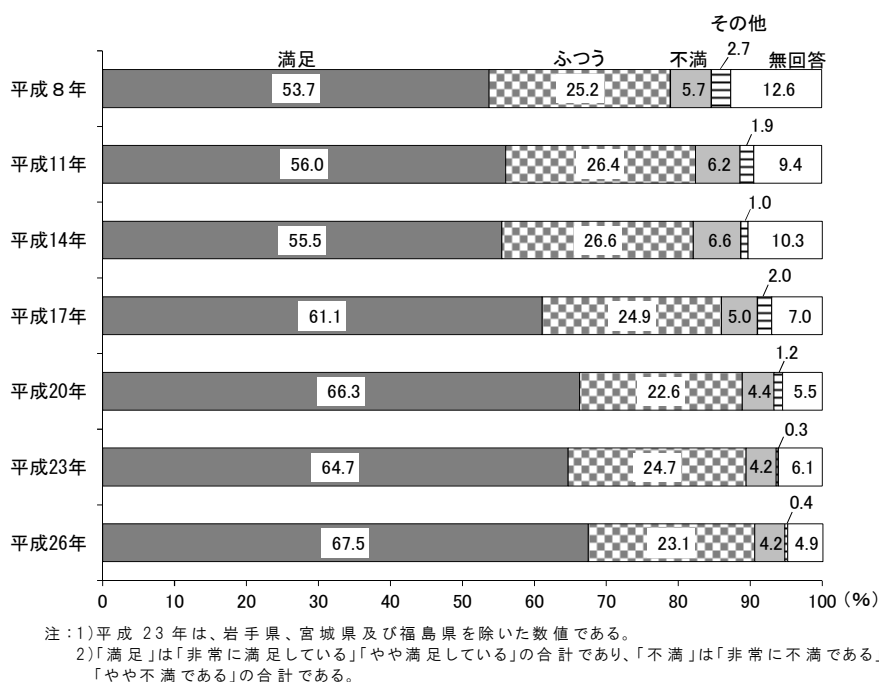
病院の種類別にみると、「満足」と回答した入院患者は特定機能病院で 76.8%と最も高くなっている。(図 18、統計表9)

図 18 病院の種類別にみた入院患者の病院に対する全体的な満足度(基本集計)



入院患者の病院に対する全体的な満足度を年次推移で見ると、「満足」は増加傾向となっている(図 19)。

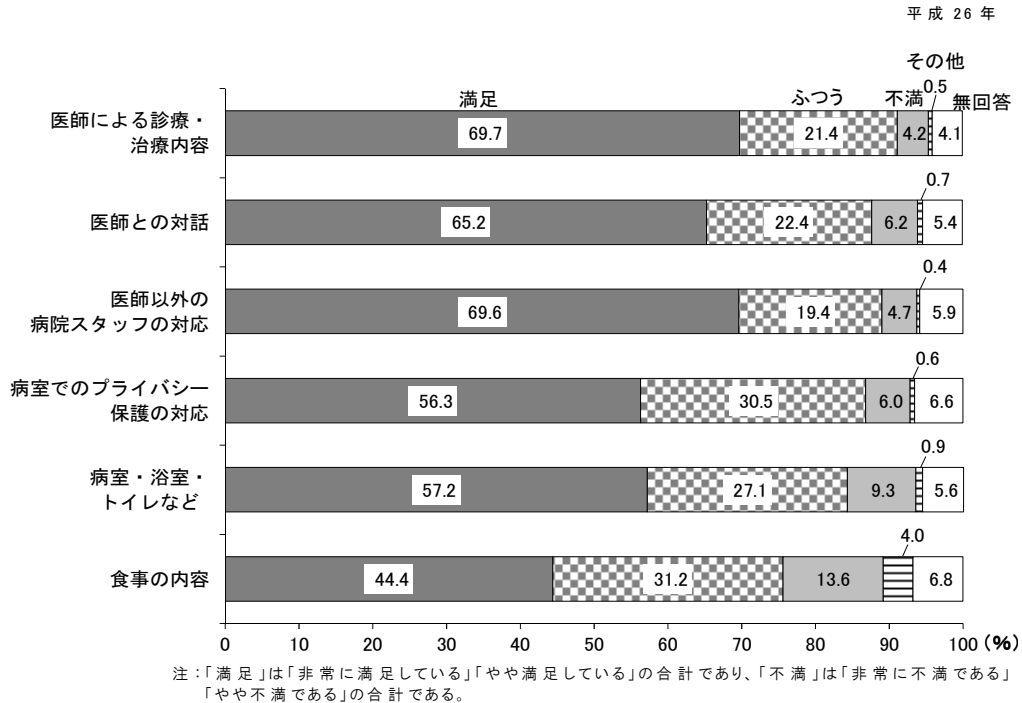
図 19 入院患者の病院に対する全体的な満足度の年次推移(基本集計)



②項目別の満足度

項目別に入院患者の満足度をみると、全ての項目で「満足」の割合が多く、「医師による診療・治療内容」69.7%、「医師以外の病院スタッフの対応」69.6%、「医師との対話」65.2%となっている。「不満」の割合は、「食事の内容」13.6%で高くなっている。(図 20、統計表9)

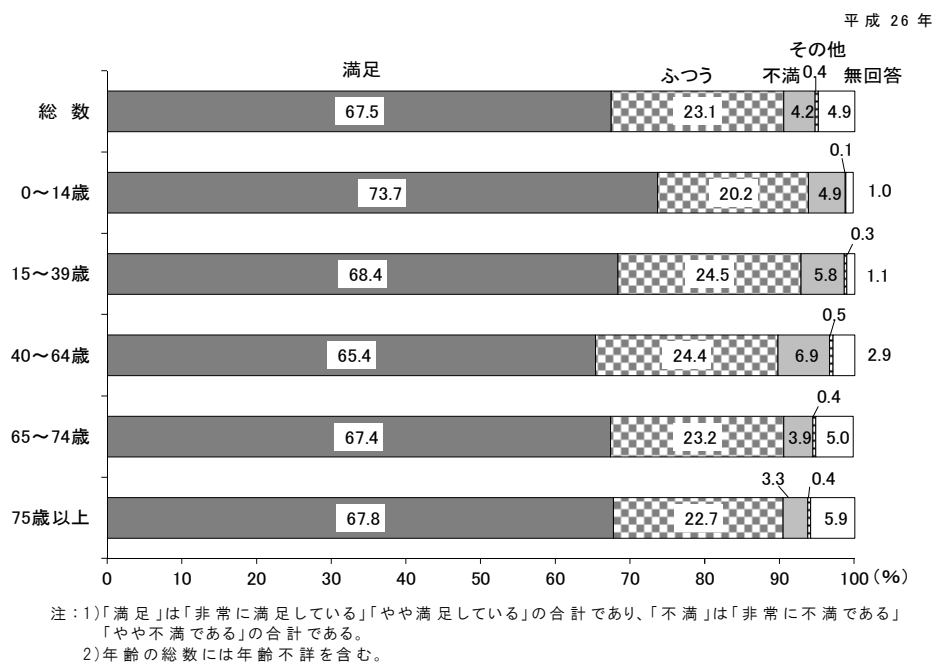
図 20 項目別にみた入院患者の満足度(基本集計)



③年齢階級別の満足度

年齢階級別に入院患者の満足度をみると、「満足」の割合は「0～14歳」が73.7%と最も高くなっている(図 21)。

追加 図 21 年齢階級別にみた入院患者の病院に対する全体的な満足度(基本集計)



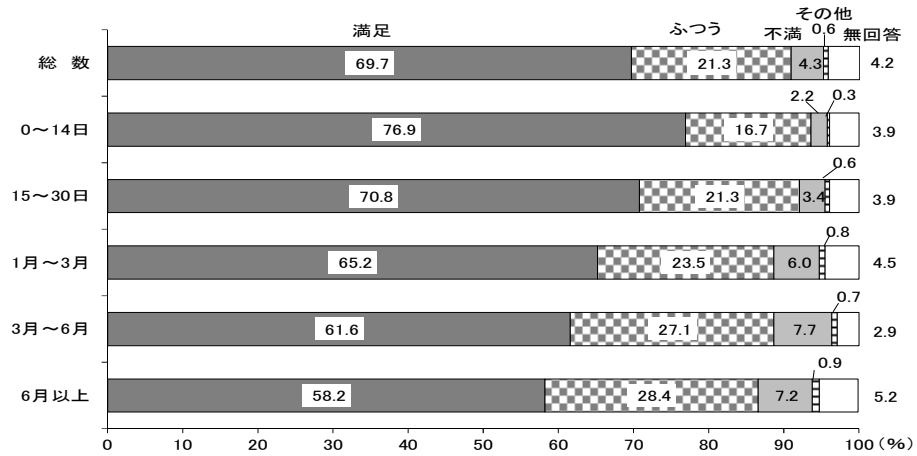
④入院期間別の満足度

入院期間別に入院患者の項目別満足度をみると、「医師による診療・治療内容」及び「医師以外の病院スタッフの対応」の「満足」の割合は、「0～14日」でそれぞれ76.9%、74.5%で、入院期間が長くなるにしたがい低下している。また、「食事の内容」の「満足」の割合は、すべての入院期間で4割程度となっている。(図22)

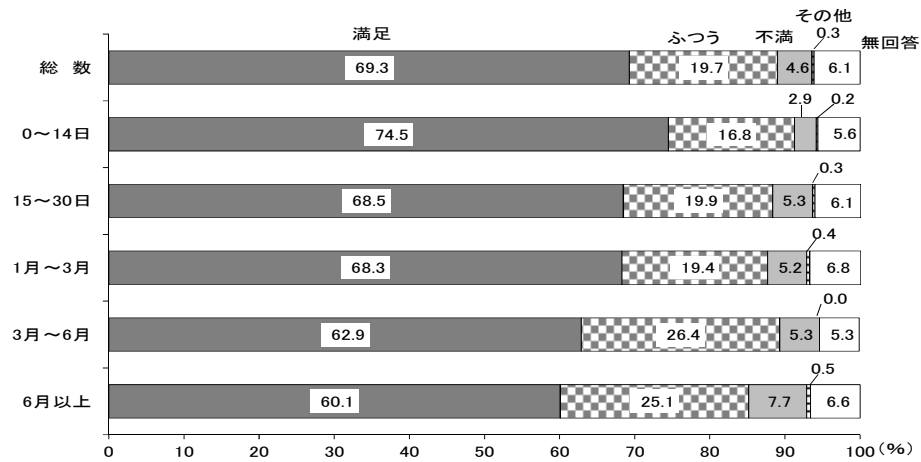
追加 図22 入院期間別にみた入院患者の満足度(関連集計)

医師による診療・治療内容

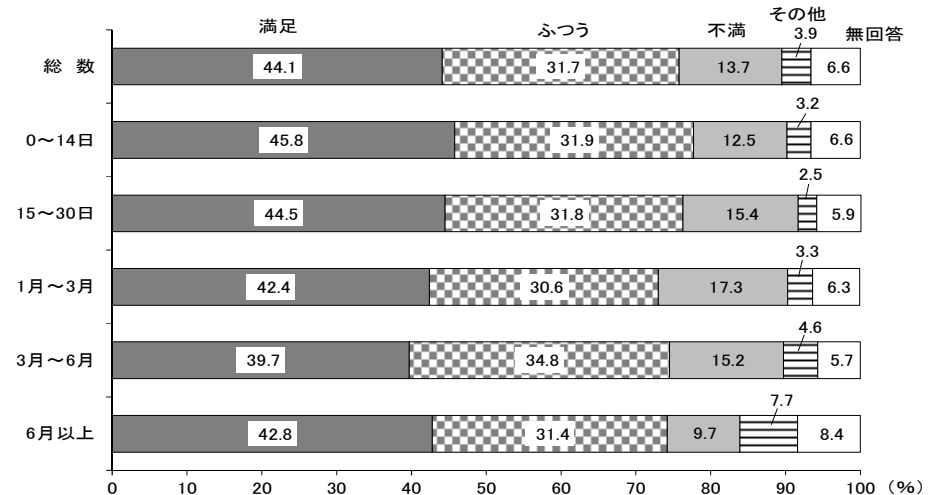
平成26年



医師以外の病院スタッフの対応



食事の内容



注:「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。